

かつしか区民連合

区議会レポート

【発行】かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012 東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03-3695-1111 (代) FAX 03-3697-0137

2024年 春号

◆ 新年度を迎えて ◆

◆日頃より私たちかつしか区民連合の活動をご理解をいただき、感謝申し上げます。◆新年度、新しい生活を迎えられている方も多いかと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。



◆葛飾区議会は昨年11月に4年任期の折り返しを過ぎ、第三回定例会の最終日には委員会の所属変更が行われ、それぞれ新しい所管委員会となりました。◆今後も、地域の課題に取り組み、持続可能な社会を目指し尽力してまいりますので、改めてのご期待をよろしくお願い申し上げます。

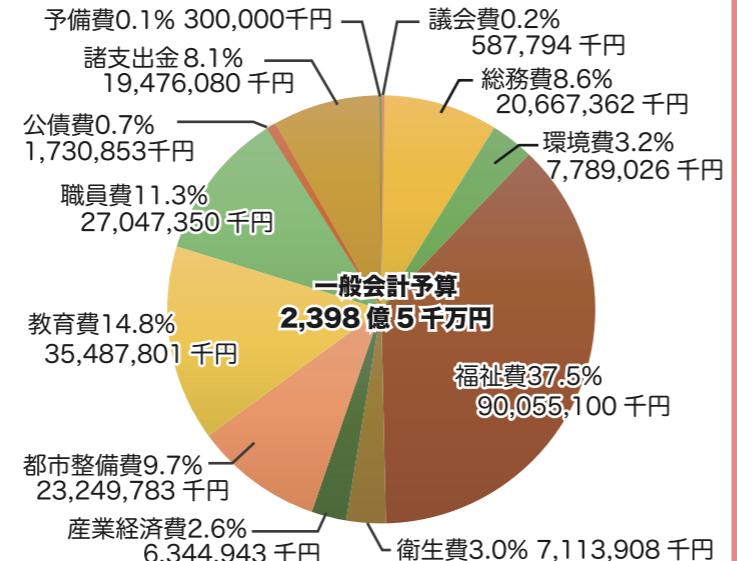
■令和6年度予算要望書提出■

◆昨年10月19日にかつしか区民連合として、青木かつのり区長に対して令和6年度予算要望書を提出しました。◆DX・人権・文化・防災・産業・福祉・子育て・教育・環境・街づくりなど区政全般に対し予算編成への要望と政策提言をしました。◆社会の変化の流れが早く、課題が多岐にわたる状況の中、より迅速に、的確な施策の実行が求められています。◆今後も各要望事項の進捗を見据えながら、地域や各現場の思いを区政へ反映し、だれ一人取り残さない、より良い社会を実現するために尽力してまいります。

◆令和6年葛飾区議会第一回定例会報告◆

令和6年度一般会計当初予算 2,398億5千万円議決

◆第一回定例会では過去最大規模となる令和6年度一般会計予算2,398億5千万円が上程され、3月27日の最終本議会で成立しました。◆過去最大規模の予算とはいえ歳出面では物価高騰の影響による事業費の増加傾向や、扶助費の高水準での推移など、今後も楽観的な見通しができることなく状況です。◆予算審査特別委員会では区民連合各委員から、より効率的な行政運営を求めるとともに、公文書管理など行政としての基盤整備や組織のあり方、大規模災害への対応力の強化、未来を見据えた子育て支援・教育環境の充実、家族介護者への支援、各地のまちづくりなど各方面での充実を求めました。



◆ 令和6年能登半島地震関連情報

首都直下地震
への備えを!

■葛飾区の災害対策について■

◆能登半島で起きたことは葛飾区にとっても他人事ではありません。◆葛飾区ではこれまで首都直下地震に備え、木造密集地域の解消や、避難所の充実などに取り組んできました。◆今回の能登半島地震で表面化した課題を検証し、葛飾区としてさらなる災害対策を具体化し、進める必要があります。

■令和6年能登半島地震義援金受け付け

◆葛飾区では下記窓口で義援金を受付けています(現金のみ)。
◎区役所2階区民ホール総合案内・新館5階504総務課
各区民事務所・区民サービスコーナー窓口など

■被災地への職員派遣

◆東京都と連携し、職員の派遣を実施しています。
◎住家被害認定業務(都庁でのリモート判定・建築職1名)
◎避難所における住民の健康支援～金沢市内の避難所へ
保健師5名・事務職1名派遣
◎廃棄物収集運搬業務～石川県七尾市へ小型プレス車等
及び職員4名派遣
◎罹災証明書受け付け業務等～石川県輪島市へ職員1名派遣

■区営住宅の提供など

◎区内へ避難を希望する方へ
区営住宅を提供
◎区内避難者への生活支援等



→ [QRコード](#)



→ [QRコード](#)



→ [QRコード](#)



→ [QRコード](#)



→ [QRコード](#)



→ [QRコード](#)

かつしか区民連合 6名の所属議員を紹介します



米山真吾

【幹事長】新小岩地域
総務委員会 委員
議会運営委員会 委員
都市基盤整備対策特別委員会

かわごえ誠一

【副幹事長】立石地域
保健福祉委員会 委員
議会運営委員会 委員
危機管理対策特別委員会 副委員長

大高 拓

【東四つ木地域】
文教委員会 副委員長
危機管理対策特別委員会 副委員長

うてな英明

【堀切地域】
建設環境委員会 委員長
都市基盤整備対策特別委員会

中村けいこ

【青戸地域】
建設環境委員会 委員
区民サービス向上対策特別委員会

門脇翔平

【金町地域】
文教委員会 委員
区民サービス向上対策特別委員会



うてな英明

令和5年第四回定例会 一般質問

■DX・デジタル・トランスフォーメーションの推進について

うてな：予算を投じてでも23区の先頭を走れるようなDX先進自治体へと取り組みを進めていくべきだ。

答弁：「行かない」「書かない」「待たない」窓口サービスの全庁展開、徹底した内部業務改革や、施策へのDX活用を重点方針に掲げ、23区の先頭を走れるようなDX戦略に取り組む。

うてな：東京理科大学工学部情報工学科が区内にあり、研究情報や、先進技術の提供、人材の確保など、連携を求めるべきだがどうか。

答弁：研究情報、先進技術、人材などについても各研究分野の実践の場として生かせるよう、更なる連携を図っていく。

うてな：子育て支援の観点からも、デジタル化を強力に行うこと、子育てしやすい葛飾区を一層PRすべき。

答弁：子育てや教育の各種手続きのオンライン化を優先的に取り組み、手続きの簡素化を推進していく。こうした取り組みを子育てしやすい葛飾区の魅力としてPRしていきたい。

うてな：移動手段が限られる高齢者も、一層の利便性向上のため、より身近な区民事務所での手続きの拡大などをしていくべきだ。

答弁：より身近な区民事務所などで手続きの支援を行えるよう、一層の利便性向上を図り、親切で利用しやすい窓口づくりを目指す。



大高 拓

令和6年第一回定例会 一般質問

■大規模災害時の対応について

大高：能登半島地震の現場に入り改めて感じた事が、近年大災害の経験がない本区にとって、平時のガバナビリティが発災時以降にそのままスライドしてしまうことだ。組織が発揮しうる課題解決能力・当事者能力と職員個々の能力の再確認、育成が急務であり、さらには発災後の大胆かつ柔軟な組織編成を含めた体制の再構築を強く求める。

答弁：では区の理解不足がみられた。

大高：能登半島地震では罹災証明書の発行が遅れている。防災DXやドローン、航空写真等を活用し「全壊」家屋の把握と、半壊以下の隠れている被害は生活再建に影響するため丁寧な調査体制を。罹災証明書のデジタル化を進め、罹災証明は「生もの」との認識を持ち、対応と制度構築を求める。

答弁：検討していく。

大高：小中学生を対象に葛飾区認定の「防災のちから」教室を試行し成果が見られた。今後はDXやVR等の活用を検討せよ。

答弁：検討する。

その他：●保育所等を活用した妊娠婦・乳児避難所の設置と備蓄・研修・経費●区と災害協定自治体の2次避難や震災疎開、学習機会の確保 ●洪水時の搬送計画 ●オンライン医療救護体制の推進など。

答弁：全てOK。

■地域公共交通計画と自動運転化

大高：計画での自動運転技術の実験や活用の反映を。

答弁：状況で判断。

大高：地域主体交通グリスロ自動運転化・グリスロ運行台数の増 **答弁**：未答弁



門脇 翔平

令和5年区民サービス向上対策特別委員会

■デジタル推進について

門脇：ドローン・ノーコードツール・LINEでの情報送受信を、それぞれ進めて欲しい。

答弁：運用・対策を考えていく。他部署が活用しているアプリとも連携検討中。情報発信のLINE上の分かりやすい配置も検討する。

門脇：人材育成での管理職と技術専門人材の分担、生成AIでは行政独自のラーニング・構築・プロンプトの推進、また人的ミスのチェック機能と全体として紙でなくワントップ型の推進を大変評価する。

答弁：事業者評価を含めて進めていく。

門脇：「かつしかDX」に「デジタルファーストを全庁展開」の文言を評価する。Govtech東京、横浜市などの東京外との連携は？

答弁：進めていく。

門脇：デジタル便利ツールで労務が減る・ミス管理。開発に注力。管理監督者とは誰か？

答弁：区の管理職、係長を含めてを指す。内部通報制度は現状は無いが、内部で情報共有は必要なので検討する。

門脇：これは逆に通報した方が何か不具合にならないように、なるべく例えば、シークレット化された情報で内部通報しやすい形の検討を求める。



かわごえ誠一

令和6年第一回定例会
予算審査特別委員会 総括質疑

■区の組織体制と人材育成について

かわごえ：将来を見据え、リスク管理ができる組織と人材育成を目指し、計画立て進めていくべきだがどうか。

答弁：DXの推進も見据え、適正で効率的な組織のあり方を見直していく。

他：管理職の兼務など組織のあり方など

■SDGs推進について

かわごえ：清和小学校に続き一月に青葉中学校で断熱改修実証が行われたが、区の施設として大きなウェートを占める学校の断熱は、SDGs推進にも重要な取り組みだ。今後さらに進めるべき。

答弁：実証の結果と費用対効果など検証し、今後多くの学校施設に展開できるよう検討する。

他：COP28の評価・SDGs推進計画など

■(仮称)人権基本条例について

かわごえ：人権関係の法律は先人たちの不断の努力で積み上げられてきた。条例策定には特に「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」の人権三法を生かすべきだ。

答弁：条例策定にはこれらの法律の理念をしっかりと取り入れていく。

他：区のハラスマメント対策についてなど

■学童保育の待機児童対策と放課後支援について

かわごえ：待機児童対策のかつしかプラスは評価するが、学童保育の待機児童問題には、まず教育委員会として子どもの放課後支援の方向性を示すべき。

答弁：モデル事業・かつしかプラスの成果を見据え、早めに方向性を示す。

他：組織を越えた学童待機児童対策など



中村けいこ

令和6年第一回定例会 一般質問
予算審査特別委員会・建設環境委員会

■大規模な災害に備えたレジリエンスの向上について

中村：平時は寄附金受付システムとして運用し、有事の際は義援金受付としても扱うことが可能なしくみとなる基金の設置を求める。

中村：地震保険等の新規保険加入に対する区独自支援の構築を求める。

■児童相談所の一時保護の課題について

中村：施設入所等をしている場合でも、ケースごとに可能な限り手紙の交換やSNS、ビデオ通話などを活用し、親子関係への配慮、ケアを円滑に進めるよう求める。

■お花茶屋地区の屋内温水プール建設について

中村：環境教育的指導及び地域住民が散策可能な緑化スペースを建物屋上に設置するよう求める。

■かわまちづくりの推進について

中村：国交省からの制度認定を受けた機会をとらえ、再生可能エネルギーの一つである河川水の温度差エネルギーを活用するための調査・技術研究を求める。

■学童保育の待機児童対策と放課後支援について

その他：●給食費完全無償化に準じた区立幼稚園への助成、運営に対する保護者等との協議継続 ●自然体験に取り組む活動団体への助成 ●スケートボードやBMXが練習できる環境の迅速な整備 ●かつしかふれあいRUNフェスタ開催コース見直し提案 ●柴又100K実施への区としての更なる連携提案など



米山 真吾

令和6年第一回定例会 代表質問

■公契約条例の今後の取組について

米山：労働者・事業者・行政の3者が定期的に意見交換できる場の設置を。

答弁：労働者・事業者側の意見を聞きながら必要な取り組みを検討する。

■防災対策のさらなる推進について

米山：不燃化加速化事業に対する体制強化と助成制度の拡充をするべき。

答弁：申請・利用状況をみながら体制強化や東京都への働きかけを行う。

答弁：密集住宅市街地事業内の主要生活道路の無電柱化の検討をすべき。

答弁：実施の可能性を検証する。

米山：耐震シェルターなど既存補助制度の拡充をすべき。

答弁：様々な観点から検討したい。

■新金貨物線旅客化について

米山：新金貨物線旅客化の具体的な案やスケジュールの明示をすべき。

答弁：検討委員会など協議を進めながら取り組みをすすめていく。

■新小岩地域のまちづくりについて

米山：放置自転車対策の見直しを。

答弁：巡回時間の見直しなど対策強化に向けた検討を行う。

他：新小岩公園再整備と連動する緩傾斜型堤防事業の住民説明や私学事業団総合運動場の今後の活用についての丁寧な合意形成を求ることについて。

その他：●人口ビジョンと当初予算編成における長期的視点に立った歳入確保の視点について ●企業の人への投資を進める地域経済対策について。